



事業所のためのリデュース (Reduce=ごみ減量) 情報紙 (News)

13 気候変動に  
具体的な対策を



## 生ごみを

## 『運ばず・燃やさず・その場で処理』

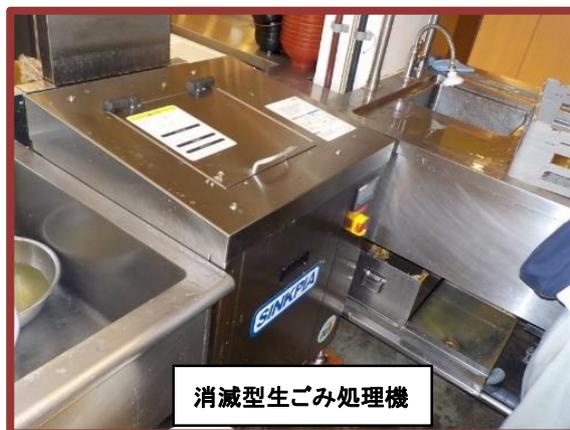


### 大阪国際空港に消滅型生ごみ処理機が導入されました

関西エアポート株式会社が大阪国際空港従業員食堂『OASIS』に消滅型生ごみ処理機を導入しました。

消滅型生ごみ処理機はRenews Vol.15でも取り上げましたが、微生物の働きにより生ごみを生分解<sup>※せいぶんかい</sup>し消滅させます。残渣を取り除く必要もなく、一日の処理量を超えなければ、随時投入することができます。また、厨房内に設置することができ、ごみ置き場に運ぶ手間がありません。従業員の方からは『音も臭いも気にならない』と好評です。投入できるものに制限がありますが、焼却処理するよりも大幅にCO2を削減することができ、環境配慮に優れた製品です。

同社は環境に配慮した様々な取り組みを行っており、空港内にある飲食・物販店舗も豊中エコショップに認定されています。



消滅型生ごみ処理機



分解している様子

※生分解<sup>せいぶんかい</sup>とは、バクテリア、菌類、その他の生物によって化合物が無機物まで分解されること。



上記写真は、空港建物(左)と空港建物内にある店舗で豊中エコショップに認定されている飲食店の「OASIS」(中)と小売店の関西旅日記(右)

#### 【バックナンバーについて】

「Renews」はバックナンバーも含め市ホームページからもご覧いただけます市ホームページの検索機能で

「Renews」で検索！

【発行】 豊中市 事業ごみ指導課 一般廃棄物指導係  
電話 06-6858-2278

Mail: jigyougomi@city.toyonaka.osaka.jp

【協力】 豊中商工会議所



みんなで食品ロスをゼロへ

## Newドギーバッグ アイデアコンテスト 受賞者を発表!

環境省は、食べきれなかった料理を持ち帰ることを身近な文化として広め、利用者の自己責任、またお店との相互理解のもとで、飲食店等における持ち帰りの実践を促す社会的な機運醸成を図ることを目的とし、環境省、消費者庁、農林水産省及びドギーバッグ普及委員会の共催で、「Newドギーバッグアイデアコンテスト」を開催しました。

コンテストでは、「ネーミングの部」「パッケージデザインの部」の2部門について作品を募集しました。

### ドギーバッグとは?

「ドギーバッグ」とはレストランやパーティーでついつい食べきれずに残ってしまった料理を持ち帰るための容器のことです。そもそも、家で待つ愛犬にも分けてあげるためと(言い訳をして)持ち帰ったことから、この名がつけられたとされ、米国などでは日常的に行われています。

ネーミングの部



## 大賞

mottECO (モットエコ)

『もっとエコ』『持って行こう』との意味が込められています。

パッケージ  
デザインの部



## 優秀賞

※審査員による審査の結果、最優秀賞は選出されませんでした。

タイトル: オカモチ

タイトル: YUKARI

タイトル: 折りがみ式  
みつろうラップ



#### ・審査コメント・

- ・持ち帰りの安定性まで含めた提案でよい。
- ・料理を入れやすそうな容器で、小分けにできるのも便利。縦型に積む形なのも、持ちやすそうだと思う。
- ・コンパクトに収納できて、持ち帰ったあとも冷蔵庫などにしまいやすく、そのまま食卓にも出せそう。

#### ・審査コメント・

- ・和のテイストが十分に感じられ、上下に伸縮できるのは持ち帰り容器として理にかなっている。
- ・小田原提灯をモチーフにして、日本の文化を感じさせるデザイン。遊び心を持ちながら、携帯しやすい形状である点も良い。
- ・自分のバッグがない場合を考え、手提げがついているものに機能面で評価できる。

#### ・審査コメント・

- ・風呂敷もそうだが、日本の「包む」文化を生かしたアイデア。いろいろな形になる多様性が◎。
- ・かさばらず携帯性があり、みつろうという環境負荷が少ない機能性の良いアイデアがよい。



※詳しくは環境省のホームページをご覧ください。

環境省 ドギーバッグ 検索

### 編集後記

ある特定の物を意識しはじめると、関連情報が目に留まるようになることを心理学で『カラーパス効果』と言うそうです。確かにダイエットを決意したら、雑誌やインターネットなどで関連情報を無意識に収集している気がします。このリニュースもそうですが、『SDGs』や『食品ロス削減』など、様々な媒体を利用し、情報発信することで市民や事業者の方に環境問題を意識してもらうことが行政の大切な役割であると感じました。

